



腐食試験と振動試験の組み合わせによる部材評価

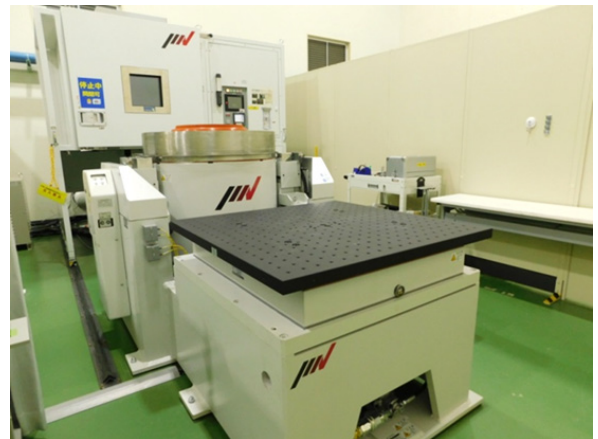
腐食試験後の振動試験、振動試験後の腐食試験、振動試験途中の腐食試験を行います。

試験の概要

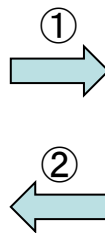
- 腐食試験と振動試験はこれまで多くが単独でおこなわれてきましたが、より信頼性の高い評価にはこれらを組み合わせた試験が求められます。当社では、以下の3つの組み合わせにより信頼性の高い評価を実現いたします。
 - ①腐食試験後の振動試験、②振動試験後の腐食試験、③振動試験途中の腐食試験
- ①②はそれぞれの試験後に、試験機を替えて実施します。③は腐食試験機で腐食液付着後に、恒温恒湿槽中の振動試験機に載せ替えて振動試験を実施します。恒温恒湿環境下での振動試験を繰り返すことで振動試験中にも腐食が進行するため、より過酷な条件での評価が実施できます。



腐食試験機 (CCT)
(JASO、JIS、自動車メーカー各社のサイクルに対応)



振動試験機
(正弦波、ランダム波、ショック波が可能)



腐食試験機CCTスペック範囲		
噴霧温度範囲(°C)	25~50、5%NaCl水溶液	
乾燥/湿潤温度範囲(°C)	25~70	
乾燥/湿潤湿度範囲(%RH)	20~95以上	
低温範囲(°C)	-20~20	
耐荷重(kg)	50~2000	
内寸(mm)	600×900(小型) 900×1200(中型) 2500×2000(超大型)	
振動試験機スペック範囲		
振動試験機	周波数(Hz)	5~3000
	最大加振力(kN)	16~40
	加振方向	垂直/水平
	最大積載量(kg)	300~600
恒温恒湿槽	温度範囲(°C)	-70~180
	湿度範囲(%RH)	20~98
	内装寸法(mm)	W1000~1200 D1000×H1000



自動ACTE®試験機 (腐食液塗布)

※ACTE® はJFEスチール株式会社の登録商標です。

対象品

- テストピース、足回り部品、異種金属溶接継手、ECUなど様々なサンプルで評価いたします。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2024 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。